

熱機械分析(TMA)

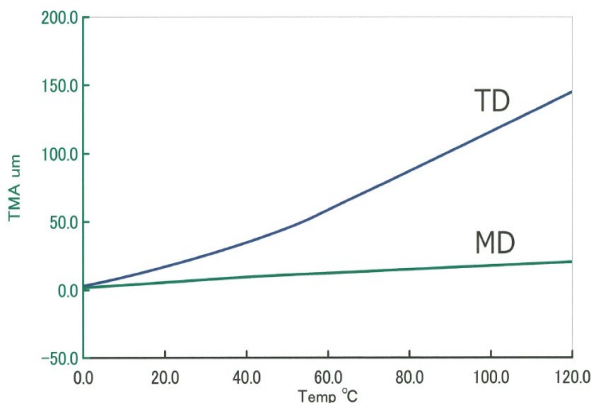
熱分析の一つである熱機械分析(TMA)は、サンプルを温度変化させた時の膨張、圧縮、引張などの寸法変化を測定する事で、線膨張率やガラス転移点、軟化点などの熱的性質を評価致します。

TMA = Thermal Mechanical Analysis

測定条件

温度範囲	-100~300℃
測定雰囲気	Air、N ₂
測定モード	圧縮・膨張・引張・針入
対応規格	JIS K7196 針入モード JIS K7197, ISO11359-2 線膨張係数測定

熱機械分析の測定事例



●線膨張係数の測定

樹脂成形品(同一部材)より成形時における樹脂の流動方向の違いによって異なる膨張率とその差が確認出来ます。

加熱による試料の膨張や収縮といった物理的な変化が確認出来ます。

関連分析項目

- ・ DSC測定(示差走査熱量分析)
- ・ TGA測定(熱重量分析)

お問合せ先 株式会社ロンビック 樹脂検査分析センター

〒510-0871 三重県四日市市川尻町1000番地

TEL: 059-345-7622

E-mail:jushibunseki@rhombic.co.jp

FAX: 059-345-7174

URL: <https://www.rhombic.co.jp/>